



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月13日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 大  
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)柳瀬 光義 (TEL)075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	2,360	△0.6	△47	—	△168	—	△116	—
24年12月期第1四半期	2,374	—	△91	—	△185	—	△126	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	△11.38	—
24年12月期第1四半期	△12.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	19,316	1,778	9.2
24年12月期	19,399	1,911	9.9

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 1,778百万円 24年12月期 1,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	3.00	3.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	1.4	220	202.6	10	—	△20	—	△1.95
通期	10,700	3.4	570	34.2	180	207.5	80	284.6	7.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期 1 Q	10,338,000株	24年12月期	10,338,000株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期 1 Q	58,761株	24年12月期	57,864株
-------------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期 1 Q	10,279,688株	24年12月期 1 Q	10,280,363株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代による景気回復への期待感から、円安・株高が進行し、外需面では回復への兆しが見られたものの、国内実体経済は依然動意に乏しく、全体としてみると未だ不透明感の残る状況で推移しました。

京都のホテル業界におきましては、国内団体客の宿泊は盛り上がりを欠いたままでしたが、個人旅行客が堅調であったほか、アジア圏からの外国人宿泊客が増加し、ホテル施設利用は比較的堅調に推移しました。

もっとも当社では、京都ホテルオークラ高層客室階「エグゼクティブフロア」の大幅な改装工事を実施したため、宿泊部門の売上がかなり落込んだことから、病院食事業及びレストラン部門の売上増にもかかわらず、当第1四半期累計期間の売上高は2,360,846千円(前年同期比0.6%減)にとどまり、営業損失は47,489千円(前年同期は営業損失91,902千円)となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

#### 宿泊部門

京都ホテルオークラの売上高は、1月から着手しました16階客室「エグゼクティブフロア」の改装工事及び無線LANネットワーク構築工事のため、販売可能客室数が制限されたことが響き、前年同期比45,220千円減となりました。

一方、からすま京都ホテルでは、国内エージェント経由の個人客は伸び悩んだものの、団体客が好調に推移したことに加え、外国人旅行客の増加もあり、売上高は前年同期比5,517千円増となりました。

これらの結果、宿泊部門の売上高は544,874千円と前年同期比6.8%の減少を余儀なくされました。

#### 宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、近隣に新規オープンした施設との競争もあり、件数、一組当たりの人数ともに前年を下回りました。また、同一般宴会におきましても、宴席件数は増加、1件当りの出席人数が減少する傾向が続き、イベントの実施などで挽回を図りましたが、売上高は前年同期比2,731千円減となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会が件数、人数とも前年を上回り、加えて朝食売上が順調に推移し、売上高は前年同期比3,750千円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は867,940千円(前年同期比0.1%増)となりました。

#### レストラン部門

京都ホテルオークラでは、中国料理「桃李」が伸び悩んだため、鉄板焼「ときわ」の好調に加え、トップラウンジ「オリゾンテ」もランチが順調に推移しましたが、売上高は前年同期比横這いで終始しました。

からすま京都ホテルでは、お食事処「入舟」、テイクアウトショップ「レックコート」、バー「アンカー」が順調に推移した一方、中国料理「桃李」が伸び悩み、売上高は前年同期比4,227千円減となりました。

この結果、レストラン部門の売上高は655,864千円と前年同期比0.6%減となりました。

その他部門

その他部門の売上高は292,166千円（前年同期比10.9%増）となりました。

主な増加要因は、前年2月にスタートした京都府立医科大学附属病院の病院食事業が今期は3か月分計上されたことと、京都ホテルオークラ別邸「粟田山荘」のランチ及び通販部門のレトルト食品「特製総料理長カレー」の売上が順調に推移したことによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	544,874	23.1	△6.8
宴会部門	867,940	36.7	0.1
レストラン部門	655,864	27.8	△0.6
その他部門	292,166	12.4	10.9
合計	2,360,846	100.0	△0.6

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ83,001千円減少し、19,316,644千円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ49,343千円減少し、17,537,798千円となりました。

また、純資産も前事業年度末に比べ132,344千円減少し、1,778,846千円となり、自己資本比率は9.2%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、現時点で業績に及ぼす影響を見積もることは困難であるため、平成25年2月13日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行者等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	600,776	418,842
売掛金	576,582	456,993
原材料及び貯蔵品	108,730	72,044
前払費用	74,807	76,328
繰延税金資産	37,511	62,494
その他	18,828	13,728
貸倒引当金	△326	△269
流動資産合計	1,416,911	1,100,163
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,066,981	12,157,127
構築物（純額）	95,526	97,844
機械装置及び運搬具（純額）	48,004	46,665
器具及び備品（純額）	239,778	318,872
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産（純額）	69,903	62,629
建設仮勘定	4,410	6,388
有形固定資産合計	17,595,945	17,760,867
無形固定資産		
ソフトウェア	46,059	45,613
リース資産	38,167	36,441
電話加入権	4,429	4,429
ソフトウェア仮勘定	5,491	13,996
無形固定資産合計	94,147	100,481
投資その他の資産		
投資有価証券	82,477	98,869
関係会社株式	24,592	30,658
長期前払費用	95,317	84,506
差入保証金	44,412	59,482
繰延税金資産	34,250	70,024
その他	11,590	11,590
投資その他の資産合計	292,641	355,131
固定資産合計	17,982,734	18,216,480
資産合計	19,399,645	19,316,644

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	278,611	189,304
短期借入金	1,817,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	820,000	904,000
リース債務	64,734	57,880
未払金	625,963	816,384
未払費用	203,164	120,464
未払法人税等	10,527	4,337
前受金	59,288	53,660
預り金	157,462	141,315
前受収益	46,474	34,374
賞与引当金	—	49,770
その他	44,893	42,660
流動負債合計	4,128,119	2,714,152
固定負債		
長期借入金	12,285,000	13,726,000
リース債務	52,379	49,508
長期未払金	62,922	88,717
退職給付引当金	52,422	47,029
役員退職慰労引当金	45,547	48,326
長期預り保証金	862,064	864,064
固定負債合計	13,360,335	14,823,645
負債合計	17,488,454	17,537,798
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	950,000	950,000
資本剰余金		
資本準備金	209,363	209,363
資本剰余金合計	209,363	209,363
利益剰余金		
利益準備金	15,427	18,511
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	749,596	598,714
利益剰余金合計	765,023	617,226
自己株式	△24,670	△25,012
株主資本合計	1,899,716	1,751,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,474	27,269
評価・換算差額等合計	11,474	27,269
純資産合計	1,911,190	1,778,846
負債純資産合計	19,399,645	19,316,644

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高		
室料売上	576,349	536,492
料理売上	1,062,939	1,092,518
飲料売上	199,716	203,981
雑貨売上	129,297	122,321
その他売上	406,404	405,532
売上高合計	2,374,707	2,360,846
売上原価		
料理原料	311,607	322,315
飲料原料	42,806	43,135
雑貨原価	98,821	99,318
その他原価	84,417	77,650
原価合計	537,653	542,420
売上総利益	1,837,053	1,818,426
販売費及び一般管理費	1,928,956	1,865,916
営業損失(△)	△91,902	△47,489
営業外収益		
受取利息	11	11
受取手数料	1,208	1,021
その他	1,387	1,645
営業外収益合計	2,607	2,677
営業外費用		
支払利息	85,380	82,443
支払手数料	—	40,600
雑損失	10,684	472
営業外費用合計	96,064	123,516
経常損失(△)	△185,358	△168,327
特別損失		
固定資産除却損	23,255	14,932
貸倒引当金繰入額	1,200	—
特別損失合計	24,455	14,932
税引前四半期純損失(△)	△209,814	△183,260
法人税、住民税及び事業税	1,539	1,117
法人税等調整額	△85,122	△67,420
法人税等合計	△83,583	△66,302
四半期純損失(△)	△126,231	△116,957



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。